



11月の緑化

ワンポイントアドバイス



朝晩冷え込むようになり、虫たちも越冬の準備を始めます。

木の幹にコモ巻きなどをして越冬害虫を寄せ付け、春先に外して焼却処理などをしてください。

常緑樹は弱い剪定にとどめ、病虫害の発生原因にもなる風通しを良くするため透かし剪定をしてください。

強めの剪定などは、適期である3月～芽吹き前に行いましょう。

松の剪定は古葉にもみあげ、不要枝の剪定などをして強剪定にはしないようにしてください。

落葉樹の剪定は落葉後の休眠期に適期になります。花芽などを切らないように注意してください。

カエデ類やウメなどは、年明けに水を上げ始めますので年内に済ませてください。

落葉樹は移植適期を迎えます。

松枯れが多発しています。

松枯れ対策を徹底してください。

~~マイマイガの卵の駆除について（お願い）~~

マイマイガの大量発生が予想されます。

「マイマイガ」は成虫になると駆除が難しいため、卵や幼虫の段階で防除することが重要です。

☆マイマイガの特徴・生態☆

樹の幹や、建物の壁、建物の基礎（特にコンクリート部分）軒下等（雨どいの裏や見えにくい場所にも産卵します）に黄褐色のマユ状の卵を産み、卵の状態越冬し、5月頃にふ化（毛虫）します。

7月から8月に成虫（蛾）になり、夜、街灯などに集まり卵を産みます。成虫の寿命は1週間程度といわれています。

（マイマイガの卵から成虫まで）

（卵）



（卵2）



（幼虫）



（成虫）



~~サクラのてんぐ巢病が多く発生しています。~~

◎サクラのてんぐ巢病について・・・

最近、サクラの枝にてんぐ巢病をよく見かけます。

この病気は、胞子が空気中を拡散して感染が広がります。
手が入らない場所では感染が広がり、手がつけられない状態になり防除が困難になります。

防除方法としては、薬剤による防除は難しいため、早期に切除し速やかに焼却処分などする他ありません。

切除した切り口には、殺菌癒合促進剤を塗布し、使用したノコギリなどは、消毒処理してください。

5月以降は、感染拡大時期になるので、この時期の処置は切除した羅病部を胞子が拡散しないよう、速やかにビニール袋へ入れ密閉するなどの注意が必要です。

作業適期は、落葉休眠期の12月から3月になります。

わからないこと、詳しく知りたいことがありましたら、緑の相談所の樹木医までお気軽にご相談ください。

